

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科／電子工学コース											
スポーツ実習 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	森田 秀之			実務経験	無	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
臨床工学の分野において30年間学生の指導にあたる。日本臨床工学技士教育施設協議会委員として約20年間従事。主な科目として医用電子工学、医用治療機器学、生体計測装置学、医用機器安全管理工学、医用機器実習などに携わる。											
授業概要											
厳冬の大自然の中、冬季スポーツの代表とされるスキー・スノーボードを通して積極的なチャレンジ精神を養い、それを克服し、さらには生涯スポーツの礎を築くことをねらいとする。滑走能力のレベルアップや集中力を高める能力を磨く。一方で、授業で習得したそれぞれの滑走技術を駆使しながら、適切な雪質・斜面を安全に克服し、スキーの楽しさ、奥深さを実感し、自然・人・体験など多くの出会いを通して、心の豊かさ、生きるための創造力を涵養する。											
到達目標											
スキーまたはスノーボードの滑走スキルを習得し、まったくの初心者では滑走ができるように、少し滑れる人はよりうまく滑走ができるように、かなり滑れる人はエキスパートレベルになることを目標とする。また、ウィンタースポーツから体を動かすことの楽しさを知り、普段から体力と健康の維持管理ができるようになる。具体的には、スキー・スノーボードの専門用語、冬山の気象と安全について理解し、習得した滑走技術を駆使してさまざまな雪質や斜面を安全に滑走できるようになるとともに集団生活により学部・学年を超えた人間関係を構築できるようになることを目標とする。											
授業方法											
インストラクターによる、講義及び演習を行い安全に滑走ができるよう指導する。											
成績評価方法											
実技	90%	技能の向上について評価する									
平常点	10%	積極的な積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
日々の体調管理をしっかり行い、必ず授業に出席すること。教習中の私語やふさわしくない授業態度、遅刻・欠席などには厳しく対応する。安全に注意し、ヘルメット、ゴーグル、グローブは必ず着用すること。大自然中であるので単独行動、危険な滑走は命にかかわることもある。絶対にはいけない。最少携行人数に満たなかった場合には、別の方法で代替したり開講を取りやめることもある。											
教科書教材											
ヘルメット・ゴーグル・グローブ等滑走に使用する物											
回数	授業計画										
第1回	開校式 集団行動を遅滞なく行う。ゲレンデのマナー基本姿勢を理解する										
第2回	歩行、リフトの乗り降り 実技概要・注意事項の説明を聞き、実習を安全に実施できるようになる										
第3回	ブルーク、サイドスリップ 実技概要・注意事項の説明を聞き、実習を安全に実施できるようになる										
第4回	直滑降からの停止、斜滑降 実技概要・注意事項の説明を聞き、実習を安全に実施できるようになる										
第5回	谷回りターン、山回りターン 実技概要・注意事項の説明を聞き、実習を安全に実施できるようになる										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電子工学コース	
スポーツ実習 2	
第6回	シュテムターン、ドリフトターン 実技概要・注意事項の説明を聞き、実習を安全に実施できるようになる
第7回	総合滑走① 実技概要・注意事項の説明を聞き、実習を安全に実施できるようになる
第8回	総合滑走② 実技概要・注意事項の説明を聞き、実習を安全に実施できるようになる
第9回	フリー滑走① ゲレンデでのマナーを守り、安全に滑走できるようになる
第10回	フリー滑走② ゲレンデでのマナーを守り、安全に滑走できるようになる